

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2016.10 vol. 126

新たに3名の 認定看護師が 誕生しました。



認知症看護認定看護師 上別府 恵子

私は、平成28年7月に認知症看護認定看護師を取得し、週1回の活動日に各病棟から依頼を受け病棟看護師と共に対応を考え、実践を重ねています。

認知症のある患者が身体疾患を発症すると、入院生活が安全・安楽に過ごせなくなる場合があります。それは、急な入院による環境の変化や、治療に必要な安静等様々な制限に対して、認知症の記憶障害や見当識障害のために現状把握をすることや言語障害のために自分の想いを他者に伝えることが困難になるからです。まずは、環境を整えることが重要ですが、医療従事者も環境要因に含まれています。そのため、認知症についての理解を深め、適切なケアを行うことで認知症患者の安心に繋がれると思います。しかし、認知症症状の原因や対応は千差万別です。認知症ラウンドを通して、その人に合ったケアの必要性の根拠を示し、柔軟なケアをスタッフと一緒に考え、患者が笑顔になる看護を実践していきたいと思っています。

糖尿病看護認定看護師 尾辻 真由美

この度、糖尿病看護認定看護師の資格を拝受いたしました尾辻と申します。糖尿病・内分泌内科の病棟に所属して約10年、糖尿病看護における療養支援を行う中で、患者さんのセルフケアを高め維持できるよう支援することの難しさを日々感じておりました。認定看護師教育課程では、患者さんの人生観や健康観など価値観を尊重して、可能な限りその人の生活にあった療養方法を共に考える必要性を学びました。糖尿病の治療は、食事や運動など患者さんの生活そのものに大きく関わるため、セルフケアの確立に向けた行動変容やその維持は、患者さんにとっての大きな負担となります。糖尿病を抱えながら生きている「生活者」であることを十分に理解し、その人らしい、より良い人生を送ることができるよう、寄り添い、他職種との連携を図りながら療養支援を行っていき、糖尿病看護認定看護師として、糖尿病看護の質の向上にも努めて参りたいと思っています。

感染管理認定看護師 栗脇 千春

この度、感染管理認定看護師に合格しました。感染管理認定看護師は、病院に関わるすべての人を対象として感染から守ることが役割だと考えています。感染は目に見えるものではありません。感染を予防するには、正しい感染対策が必要不可欠になってきます。そのため、私は色々な人と関わり、皆様の状況に合わせた感染対策と一緒に考えて実践していきたいと思っています。まだまだ活動を始めたばかりで、皆様にご迷惑をかけるかと思いますが、これから実践を重ねて感染管理認定看護師として役割を發揮できるように頑張っていきたいと思っています。

私たち3名が認定看護師に加わったことで、当院の認定看護師は合わせて14名になりました。認定看護師同士で情報を共有し、連携して皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

第1回 健康フェスタ開催

平成28年9月11日（日）に鹿児島医療センター外来棟にて「第1回健康フェスタ」を開催しました。健康フェスタは、以前「心臓・血管病市民公開講座」と同時に行っていたものですが、今回初めて内容をより充実させ単独の催しとして行いました。鹿児島市の医療需要は今後も高まると予想されており、この健康フェスタを通じ自身の生活習慣を見直すきっかけになればとの思いから企画しました。



当日はよく晴れ、特注したのぼり旗が風にはためく中で、小さなお子さんを含めた非常に幅広い年齢層の200名を超える方の来場がありました。特に開始時間前にもかかわらず100名近くの来場もあり、先着抽選を行った「ABI（血管年齢）」と「院内ツアー」については入場と同時に受付人数に達するなど非常に盛況でした。今回は、上記のイベントに加えて「健康チェック」、「手洗い・車椅子体験」、「キッズコーナー」、「BLS・AED体験」・「栄養・薬剤相談」「附属看護学校紹介」など多くのイベントを外来棟全体で行いました。

院内ツアーでは「普段は入れない所で説明を受けてとても感激した」とあまり見ることのない手術室などを見学し、積極的な質問が飛び交いました。特設のキッズコーナーでは「子どももとっても楽しかったと喜んでいました」とくじ引きやバルーンアート、白衣試着体験が喜ばれました。また、BLSの体験では「使い方を教えてもらうことはあまりないのでいい体験になった」とAEDを使用するいざという時の備えになったようです。そのほか手洗いの確認体験では、「気をつけているつもりが出来てない箇所があった」とブラックライト（紫外線ライト）を利用したチェックで思う以上に手が洗えていない事実には驚くなど、どのイベントでも得るものがあったようです。今回の「第1回健康フェスタ」に来場された方の病気の発生を少しでも予防・軽減できればよいとスタッフ一同願っています。

引き続き来年度に「第2回健康フェスタ」を開催する予定です。配布したアンケートでは、多くが「良かった」「また来たい」との感想を多く頂けましたが、1回目ということで不慣れな点もあり、一部の進行で来場者の方にご迷惑もお掛けいたしました。今回の反省を踏まえまして、今後もよりよい健康フェスタを行っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

（文責：外来係 宮崎 陽悠）



鹿児島県臨床外科学会総会・医学会で若手奨励賞を受賞

大変恐縮ながら、この度、第72回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会(H. 28. 8. 20、鹿児島市)にて、若手奨励賞をいただきました(写真1)。演題は、『循環器内科・外科の collaboration で Segmentary Arterial Mediolytic (SAM) による脾動脈瘤破裂を救命し得た1例』です。脾動脈瘤破裂による腹腔内出血で、大量補液やカテコラミンに非反応性の shock vital の患者さんに対し、先に第2循環器内科の先生方にIABO(大動脈バルーン閉塞術)カテーテルを挿入していただきました。腹腔動脈直上でバルーンを拡張させ脾動脈への血流を遮断することで(図1)、vital の安定化に成功しました。続いて当科にて緊急で開腹下脾臓摘出術施行し、止血を得ました。術後再灌流障害などの合併症なく、最終的に徒歩にて自宅退院となりました。

本症例は上記の科だけではなく、心臓血管外科、放射線科、麻酔科、病理部、手術部、ICUなど複数の科や部の先生方・スタッフの方々と連携し、診療科の垣根を超えて診断・治療に至った症例です。当院だからこそ救命し得た症例の1つであると思います。

今回の発表にあたっては、当科の菰方部長、海江田先生、井上先生に貴重な時間を割いていただき、何回も予演をチェックしてもらい、スライドや原稿を直していただきました。現状に満足せず、今後とも臨床や学術に精進していきたいと思ひます。

(文責：鹿児島医療センター外科後期研修医 安村 拓人)



写真1：特別講演の東京大学肝胆脾外科人工臓器・移植外科教授 國土典宏先生(真ん中)、座長の鹿児島大学第1外科教授 夏越祥次先生(左から3番目)や、偉大な外科の先生方との記念の1枚(安村は左より4番目)【鹿児島県臨床外科学会より提供】

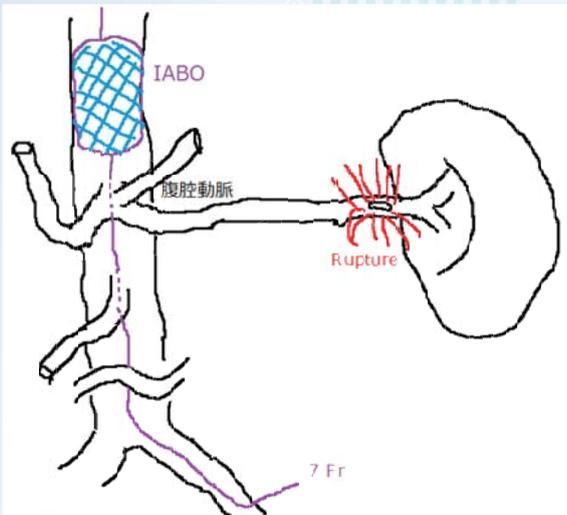


図1：腹腔動脈直上でIABOのballoonを拡張し、脾動脈からの出血を一時的に止血した(スライドより)。

鹿児島医療センター 第3回 がん市民公開講座のご案内

鹿児島医療センター 第3回がん市民公開講座

ここまで治る!
~がん治療の最前線~

日時 2016 11/6 (日)
13:30~16:40(13時開場)

場所 鹿児島県医師会館 (大ホール)

1. 開会挨拶 院長 花田修一	5分
2. 第一部 講演:がん治療の進歩(2016~2017)	
1)5大がん 鹿児島 大塚真紀	(13:35)
(1)胃癌・大腸癌 消化器内科医長 山崎尚久	15分
(2)肺癌・肝臓癌 外科部長 高方博夫	15分
(3)肺癌・乳癌 腫瘍内科部長 魚住公治	15分
(休憩)	10分
座長 魚住公治	(14:30)
2)子宮癌・卵巣癌 婦人科医長 藤崎伸太郎	10分
3)前立腺癌 泌尿器科医長 千代丸 剛	10分
4)悪性黒色腫 皮膚腫瘍科医長 松下淳人	10分
5)頭頸部癌 耳鼻咽喉科部長 松崎 勉	10分
(休憩)	10分
座長 魚住公治	(15:20)
6)白血病 血液内科医長 原口浩一	10分
7)成人T細胞白血病 血液内科医長 大渡五月	10分
8)悪性リンパ腫 血液内科部長 大塚真紀	10分
(休憩)	15分
3. 第二部 質疑応答(がん相談も可)	(16:05)
座長 魚住公治 大塚真紀 眞田尚美	30分
4. 閉会挨拶	5分

※がん相談は講演と並行して開催 13:30~14:30

申込方法

- メール: info@kagomc2.hosp.go.jp
- FAX: 099-226-9246
- 申込締切: 10月31日(月)必着
- お問い合わせは平日(月~金)の9時から17時の間に鹿児島医療センター総務課(099-223-1151)までお問い合わせ下さい。

先着申込順 300名様 無料

国立病院機構鹿児島医療センター
鹿児島県 鹿児島市 鹿児島県医師会 鹿児島市医師会
鹿児島県腫瘍科医師会 南日本新聞社

●お問い合わせ先
国立病院機構鹿児島医療センター
〒892-0253 鹿児島市塩田町1番1号 TEL.099-223-1151
ホームページ http://kagomc.jp/

鹿児島医療センター 平成28年度 脳卒中看護エキスパートナース研修公開講座のご案内

鹿児島医療センターでは、脳卒中看護の質の向上を図る事を目的に、11月28日(月)～12月5日(月)、6日間の脳卒中看護エキスパートナース研修を企画しております。
つきましては、この研修の講義(4日間)をオープン参加とし、地域の医療職、看護職員の多くの皆様にも参加していただけたらと考えております。

1講座から受講を受け付けており、いくつでも無料で受講できますので是非参加していただきたいと思っております。

月日	日 時	場所	講義内容	講師
11/28 (月)	10:30 ~ 12:00	鹿児島医療センター 研修棟3階	脳卒中概論	脳血管内科医長
	13:00 ~ 14:20		脳卒中看護概論	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
	14:30 ~ 16:00		脳卒中の分類と病態生理、診断及び治療	脳血管内科医長
	16:10 ~ 17:10		急性期合併症予防の支援技術	集中ケア認定看護師
11/29 (火)	8:30 ~ 9:00		栄養管理	栄養管理室長
	9:10 ~ 10:00		脳卒中の薬物療法	薬剤主任
	10:10 ~ 11:10		脳卒中の検査	脳血管内科医師
	11:10 ~ 12:10		運動・認知機能障害と評価	脳血管内科医長
	13:10 ~ 14:10		脳卒中の外科治療	脳神経外科医長
	14:20 ~ 15:20		重篤化回避の支援技術	救急看護認定看護師
	15:30 ~ 17:00		認知症患者・家族の看護	認知症看護認定看護師
12/1 (木)	8:30 ~ 9:10		脳卒中の理学療法	副理学療法士長
	9:10 ~ 9:50	脳卒中の作業療法	作業療法士	
	10:00 ~ 10:40	脳卒中の言語療法・摂食訓練	言語聴覚士	
	11:00 ~ 12:00	再発予防の患者家族ケア	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	
	13:00 ~ 14:00	脳卒中患者の退院・転院支援	医療ソーシャルワーカー	
12/5 (月)	8:30 ~ 10:00	回復期の看護	鹿児島大学病院 霧島リハビリテーションセンター 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	

※参加申し込み方法：当院 HP(<http://kagomc.jp>) より申し込み用紙を DL して必要事項を記入し、FAXで申し込みください。
申込締め切り11月16日(水)

■当院の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用いただくか、自家用車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

参加申し込み先：鹿児島医療センター 教育担当師長：神野 美子 宛 TEL 099-223-1151 (代表)

**新
任
紹
介**



麻酔科

石堂 尚子

9月から赴任しました麻酔科の石堂と申します。前勤務地は大学病院で、鹿児島医療センターは今回で3度目の勤務となります。手術室スタッフや外科系の先生方も知っている方が多く、心強いです。鹿児島医療センターはとても働きやすく、また勤務できることはとてもうれしいです。ハイブリッド手術室も今後稼働が予定されているということで、手術・麻酔ともに興味深く、関わることがとても楽しみです。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、貢献できるよう努めてまいりますのでご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



小児科
レジデント

西藤 陽

小児科2年目の西藤(さいとう)です。昨年1年間は鹿児島大学病院に、先月までの半年間は鹿児島こども病院に勤務しておりました。鹿児島医療センターではこれまでと違った症例に触れる機会も多く、自分の知識のなさを嘆きながら毎日頑張っているところです。最近の趣味はピアノを弾くことです。10数年ぶりに弾いてみたら思いの外はまってしまい、昔の楽譜を引っ張り出して休みのたびに練習しています。

まだまだ未熟な面ばかりで、たくさんの方々に迷惑をかけると思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導のほど宜しくお願ひ致します。

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域連携】 蘭田・谷口・田上・吉永・椎原・吉留・菊永・久保・櫻木・田辺・宮崎

【がん相談】 松崎・森・水元・木ノ脇・原田・上妻

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

